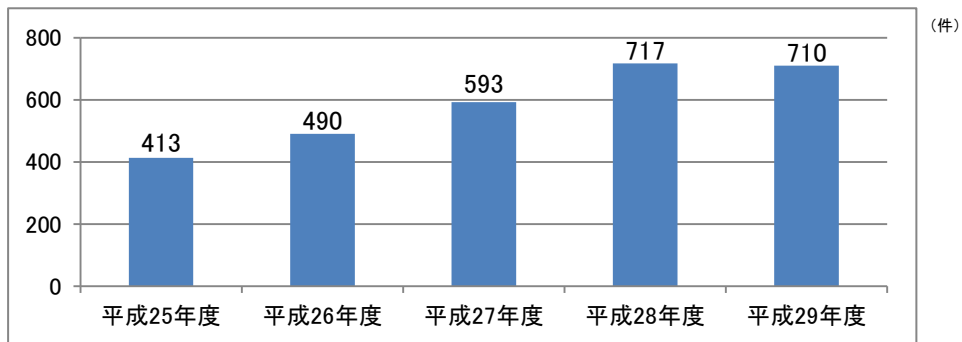


## 6 重症入院患者の手術全身麻酔件数

### ○項目の解説

「項目2 手術室内での手術件数」や「項目4 手術技術度DとEの手術件数」の難しい手術と同様、心臓の働きが悪くなる心不全という疾患をもつ患者など、重症な患者の手術を行うことも国立大学附属病院の社会的責任の一つといえます。重症な患者に全身麻酔をかけて手術する場合は、生命の危険をはじめ様々な危険が伴います。従って、手術中のみならず手術前後で十分に患者を観察し、慎重な麻酔を行える体制が必要になります。この指標は、麻酔管理の難しい重症患者の手術ができる麻酔能力の高さともいえます。

### ○当院の実績



### ○当院の自己点検評価

本年度の重症入院患者の手術全身麻酔件数は710例となり、過去最多件数であった昨年度に引き続き700件を超える件数となりました。さらに、超音波ガイド下神経ブロックや薬物動態を指標とした麻酔薬投与などの最新麻酔技術を駆使して、全身麻酔を回避した症例も多いため、重症入院患者の手術件数はさらに多くなっております。このことは地域における高度先進医療を担っている大学病院としての機能を十分に果たしていると評価しております。

### ○定義

医科診療報酬点数表における、「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔(麻酔困難な患者)」の算定件数です。

### ○算式

実数